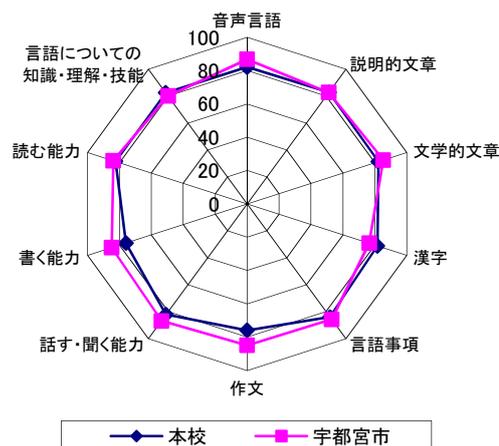


宇都宮市立平石北小学校第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	82.1	86.8
	説明的文章	82.9	82.6
	文学的文章	82.1	85.2
	漢字	81.5	76.4
	言語事項	83.9	85.7
	作文	75.9	84.9
観点別	話す・聞く能力	82.1	86.8
	書く能力	75.9	84.9
	読む能力	82.5	83.9
	言語についての知識・理解・技能	82.5	80.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (82.1%)	・宇都宮市の平均と比較すると、正答率が低い。話を聞いて、自分の意見を書くことはできていたが、話の内容や話し方の工夫の聞き取りについては、正しく聞き取れなかった児童が多かった。	・日頃から、話の聞き方を意識するよう指導する。また、「話し方聞き方」の学習では、教師の話や友達の発表なども、要点をつかんで聞き取れるよう、メモなどを取るようになる。
説明的文章 (82.9%)	・宇都宮市の平均とほぼ同じである。筆者の意見の根拠や段落と段落の関係の読み取りについては正答率がやや高いが、文章全体の内容の理解についてはやや正解率が低くなっている。	・段落ごとの要点を読み取る活動を取り入れる。また、その段落に見出しをつけるなどの作業をしながら内容を理解できるようにしていく。
文学的文章 (82.1%)	・宇都宮市の平均と比較すると、正答率が低い。特に場面の様子や登場人物の心情を読み取る問題の正解率が低い。	・場面の様子や登場人物の心情を、文章中の言葉に着目して読み取れるようにする。文章中から根拠となる言葉を見つけて説明できるよう、一つ一つの単語をよく読むようにする。
漢字 (81.5%)	・宇都宮市の平均と比較すると、正答率が高いが、「限界」の書きや「視野」の読みでは正解率が低い。「厳しい」の読みは全員が正解している。	・引き続き、ドリルなどでの反復練習を継続する。既習学年の復習も行う。
言語事項 (83.9%)	・宇都宮市の平均とほぼ同じである。漢字の読み書きについては正解率が高いが、漢字辞典の引き方については正解率が低くなっている。	・漢字辞典や、国語辞典の活用も取り入れ、自分で辞典を引く機会を増やすようにする。
作文 (75.9%)	・宇都宮市の平均と比較すると、正答率が低い。他の小学校への依頼状を書く際、「結びのあいさつ」はおおむね書くことができていたが、「後付け」を書くことがあまりできていない。	・様々な体験と関連させて、書き方を身に付けられるようにする。また、既習の文章の書き方について復習する。